

国際開発学会第31回全国大会に参加し研究成果を発表しました（2020/12/5-6）

テーマ：災害科学、国際開発学・国際協力学、アチェ
場所：オンライン（Zoom）
URL：<https://www.jasidconference.org/>

12月5日（土）、6日（日）の2日間にわたり、オンライン（Zoom）で国際開発学会第31回全国大会が開催されました。国際開発学会は、国際開発学・国際協力学に貢献すること等を目的に、分野横断的な研究活動を推進している学会です。

当研究所から、佐々木大輔助教（情報管理・社会連携部門 社会連携オフィス）が科研費プロジェクト（「アチェにおける災害復興で現地の学術研究機関が果たす媒介機能の活用に向けた新展開」）に係る成果発表を行いました。発表後、開発研究の専門家から多くの質問・コメントがありました。

昨今では、国際開発学・国際協力学の立場から災害をテーマとした研究が多く見られます。引き続き、仙台防災枠組・持続可能な開発目標（SDGs）・パリ協定等の国際防災アジェンダ、および関連するグローバル・イシューについて、国際開発学・国際協力学の観点も交えながら、文理融合の学際研究を積極的に推進していきます。

【報告論文】

佐々木大輔：アチェにおける災害復興で現地の学術研究機関が果たす媒介機能について



発表画面（Zoom）